

## 北九州市域方言のアスペクト形式(1)

— 当方言と共通語との対照を試みる —

住 田 幾 子

### はじめに

北九州市域方言におけるアスペクトの形式には、

(1)「進行中」の「～ヨル(動詞+居る)」

(2)「結果の持続」の「～トル(動詞+て+居る)」

の二つの形式がある。この「～ヨル・～トル」は、共通語においては、「～ている」にあたるものであるが、「～ヨル・～トル」と「～ている」とは、その対応関係がひととおりではなく、当該方言をネイティブとする者が共通語に切り換える際には、しばしば迷いが生ずる。時には、気づかないままに切り換えが間違っていることもある。また、誤用を指摘されても、共通語の法則がつかめず、ますます混乱するというのが現状である。共通語のアスペクトに関する論述にあたってみても、根底に方言形式による認識があつて、やはり十分には理解ができないのである。

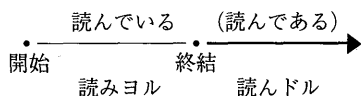
そこで、一定量の動詞を取りだして、一つ一つの動詞について、当該方言と共通語とを対照させることを試みた。この作業から得られた、両者のアスペクト形式の異同を整理した結果を記述して、方言を共通語に切り換える際の「覚え書き」としたい。

### 一、北九州市域方言と共通語のアスペクト形式

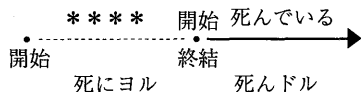
共通語のアスペクトの用法については、文法形式による金田一(1976)の分類があり、この方法が、まずは理解しやすいものである。金田一は、動詞を、アスペクト形式に着眼して、次のように分類することを試みている。

「～ている」をつけることがない		状態動詞	ある	出来る
「～ている」をつけることができる	進行中	継続動詞	読む	降る
「～ている」をつけることができる	結果の残存	瞬間動詞	死ぬ	点く
つねに「～ている」がつく		第4種の動詞	聳える	する

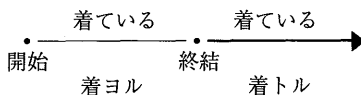
共通語の「～ている」に対応するものとして、当該方言のアスペクト形式では、「ヨル」と「トル」との二つの用法があり、たとえば、「読む」については、



となり、「ている」と「ヨル」とが対応する。いっぽう、「死ぬ」については、



となり、「ている」と「トル」とが対応している。また、「着る」については、



となって、「ている」は「ヨル」・「トル」の両方に対応している。このように、「ている」と「ヨル・トル」との対応関係は一様ではない。方言形式の「ヨル」・「トル」は、「居る」・「在る」以外のほとんどの動詞に付いてはたつき、この点においても、共通語のAspect形式とは異質のものであることがわかる。

なお、「ヨル・トル」と「ている」とを対照させていると、そこに「てある」の形式も関わってくる。「読んだル」は、共通語では「読んだである」であり、「トル」は、「てある」にも対応している。方言と共通語とのAspect形式を対照させて見るときには、「ている」とともに「てある」の用法も合わせて見る必要がある。当該方言にも、「てある」に相当する「チャル(テ+アル)」の形式があるが、両者の意味・用法には、やはり異同が見られる。

以上のことから、本稿では、当該方言と共通語とのAspectに関する意味・用法などの異同を、「ヨル・トル・チャル」と「ている・てある」との形式に注目して比較、検討する。

## 二、北九州市域方言と共通語とを対照させる動词语彙の選定

北九州市域方言と共通語とのAspect表現の異同を見わすためには、動詞の選定に偏りを生じさせないこと、またそれが基本的な語彙であることなどを最低限の条件としたい。そこで、『日本語教育指導参考書9 日本語教育基本語彙七種 比較対照表』(国立国語研究所 1982年)の中から、次の5種類のものに共通して掲げられている動詞を取り出すことにした。

- 1 岡本禹一 『日本語基本語彙』(1944 国際文化振興会)
- 2 加藤彰彦 「日本語教育における基礎学習語」(1963~4 『日本語教育』第2号)

及び第3・4合併号 日本語教育学会)

- 3 玉村文郎 Practical Japanese-English Dictionary (1970、78 海外技術者研修協会)
- 4 J.V.Neustupuny A Classified List of Basic Japanese Vocabulary (1977 Monash University, Department of Japanese, Melbourne)
- 5 文化庁国語課 『外国人のための基本語用例辞典』(1971、75)

上記の1・2・3・4・5に共通する動詞語彙は、次の203項目(異字同訓の語を含む)である。

表1

1.1	合う	34.1	起こる	71	決める	108.2	建つ	137	並ぶ	171.1	挙める
1.2	会う	34.2	興る	72	切る	109.1	立てる	138	成る	171.2	褒める
1.3	逢う	35	教える	73	着る	109.2	建てる	139.1	慣れる	172	曲がる
2.1	上がる	36	押す	74	下さる	110	楽しむ	139.2	馴れる	173	負ける
2.2	揚がる	37	落ちる	75	曇る	111	頼む	140	逃げる	174	待つ
3	開く	38	落とす	76	暮らす	112	似る	141	似る	175	間に合う
4.1	明ける	39	踊る	77.1	比べる	113	足りる	142	盗む	176	見える
4.2	開ける	40	驚く	77.2	較べる	114	違ふ	143	眠る	177	磨く
5.1	上げる	41	覚える	78	来る	115	使う	144	寝る	178	見せる
5.2	揚げる	42	思う	79	呉れる	116.1	捕まえる	145	残る	179	見付ける
5.3	挙げる	43	泳ぐ	80	消す	116.2	掴まえる	146.1	乗せる	180	見る
6	遊ぶ	44.1	降りる	81	答える	117	疲れる	146.2	載せる	181	結ぶ
7	当たる	44.2	下りる	82	困る	118.1	付く	147.1	延びる	182	燃える
8	集まる	45	折る	83	殺す	118.2	着く	147.2	伸びる	183	持つ
9	集める	46.1	降ろす	84	壊れる	118.3	就く	148.1	上る	184	貰う
10	洗う	46.2	下ろす	85.1	探す	119.1	作る	148.2	登る	185	焼く
11.1	有る	47	終わる	85.2	探す	119.2	造る	149	飲む	186	休む
11.2	在る	48	買う	86	下がる	120.1	付ける	150.1	乗る	187	瘦せる
12	歩く	49	飼う	87	咲く	120.2	着ける	150.2	載る	188	止む
13	言う	50.1	返す	88	下げる	121	伝える	151	入る	189.1	止める
14	生きる	50.2	帰す	89.1	差す	122	続く	152	履く	189.2	辞める
15	行く(ゆく)	51	変える	89.2	指す	123	包む	153	始まる	190	遣る
16	急ぐ	52.1	帰る	90	誘う	124.1	勤める	154	始める	191	許す
17	戴く	52.2	返る	91	叱る	124.2	努める	155	走る	192	揺れる
18	要る	53	書く	92	死ぬ	125	出来る	156	働く	193	呼ぶ
19	居る	54.1	掛ける	93	しまう	126	手伝う	157	話す	194	読む
20	入れる	54.2	懸ける	94.1	締める	127	出る	158.1	離す	195.1	因る
21	受ける	55	飾る	94.2	閉める	128	通る	158.2	放す	195.2	依る
22	動く	56	貸す	95	知らせる	129.1	飛ぶ	159.1	離れる	195.3	解る
23	歌う	57	教える	96	調べる	129.2	跳ぶ	159.2	放れる	196	喜ぶ
24	移る	58	片付ける	97	知る	130.1	止まる	160	払う	197.1	解る
25	生まれる	59	勝つ	98	吸う	130.2	留まる	161.1	張る	197.2	判る
26	売る	60	被る	99	過ぎる	131.1	取る	161.2	貼る	198.1	別れる
27.1	選ぶ	61	通う	100.1	透く	131.2	執る	162	晴れる	198.2	分かれる
27.2	択ぶ	62	借りる	100.2	空く	131.3	探る	163	引く	199	忘れる
28	起きる	63	乾く	101	進む	132.1	直す	164.1	殖える	200	渡す
29	置く	64	変わる	102	捨てる	132.2	治す	164.2	増える	201	渡る
30.1	送る	65	考える	103	住む	133	流れる	165	吹く	202	笑う
30.2	贈る	66	感じる/ずる	104	済む	134.1	泣く	166	拭く	203	割る
31	運れる	67	消える	105	坐る	134.2	鳴く	167	太る		
32.1	起こす	68	聞く	106	倒れる	135.1	無くな	168	踏む		
32.2	興す	69	聞こえる	107	出す	135.2	亡くな	169	降る		
33	怒る	70	決まる	108.1	立つ	136	習う	170	減る		

### 三、北九州市域方言と共通語とのアスペクト形式の対照

表1に掲げた203項目の各動詞について、「ヨル」・「トル」・「チャル」、または「ている」・「である」の形式が付くか否かを検討した。また、合わせて、これらの用法の持つ意味についても、先行研究によって明らかにされているものに依いつつ検討した。まず、「ている」の意味については、「進行中」「繰り返し・反復・習慣」「結果の残存・結果の状態」「経験」などがある。

次に、「である」については、森田良行(1971)によって、

「である」を伴って対象事物の有形の状態性(結果の現存)を表わすもの

「である」を伴って行為の完了、主体の無形の状態性(結果の蓄積)を表わすもの  
の二つの意味があることがわかっている。

方言形式の「ヨル」は、いうところの「動作動詞」「変化動詞」の両方に付くことができる。「動作動詞」に付いた場合は、「進行中」の意味を表わし、変化動詞に付いた場合は、「死ぬ」の例で見たように、「将然」(金田一)の意味を表わす。「消す」の「消しヨル」は、「消しつつある」という意味で、「消す」の意味作用が開始して、終結するまで(終結してはいない)の過程をとらえて、それを状態として表現している。とにかく、動詞の意味作用が「開始」して「終結」するまでの過程は「進行中」なのである。が、本稿では、これを、とにかく意味作用が「開始」して進行している状態と見て、「開始」と呼ぶことにする。

また、「お茶を入れる」という時は、「今、湯を注いでいる」状態なのか、「お茶を入れるために湯呑みを用意している」状態なのか、「湯を沸かそうとしている」状態なのか、その場に応じて表現者のとらえ方が違うが、これらをすべて、「入れる」の意味作用が開始して終結するまでの進行中の過程として「ヨル」で表現する。「花が咲く」の「咲く」の場合も同様に、たとえば、「今年は蘭の花が咲くのだろうか、と思っている時に蒼を見つけて、「あっ、咲きヨル。」と言うことができる。

なおまた、「動く」の場合、「機械が動く」は「動きヨル」となって動作動詞としてはたらし、「場所が動く」は「動いトル」となって変化動詞としてはたらいっている。いわゆる動作動詞・変化動詞との見方に同意しながらも、アスペクト形式の付き方によって、「動作動詞的になるか・変化動詞的になるか」という見方を加えてもよいと考える。

以下に、形式と意味との両方の面から、北九州市域方言と共通語とのアスペクト表現についての異同を掲げていく。意味については、[開始]・[進行中]・[繰り返し]、[結果の状態]・[経験]、[結果の蓄積]・[結果の現存]などと呼んで分けることにする。

#### A 「ヨル・トル・チャル」と「ている・である」

##### ①洗う

母は、今、茶碗をあらひヨル。[進行中] いつも、私が茶碗をあらひヨル。[繰り返し]  
ている ている

茶碗は、もうあろうトル。〔結果の状態〕 犯人が、ここで凶器をあろうトル。〔経験〕  
 である〔結果の蓄積〕 ている

茶碗が、あろうチャル。〔結果の現存〕  
 である

車を呼ぶ 机の上を拭く 車を磨く 手紙を書く 商品を包む 折紙を折る ツリーを飾る 靴の紐を結ぶ 魚を焼く テンプラを揚げる 線を引く 荷物を置く 漬物を切る 薪を割る 枝を透く 障子を貼る 印鑑を押す お茶を入れる 食器を出す 店をしまう 部屋を片付ける 看板を立てる 門を開ける 門を閉める ブラインドを上げる 風鈴を下げる 船を岸に着ける 名札を付ける シャッターを下ろす 荷物を降ろす ゴミを捨てる 会費を集める 机の配置を変える ネクタイを選ぶ 目玉焼きを作る 故障を直す 血を採る 本を借りる 本を返す 稚魚を放す 間隔を離す 眼鏡を捜す

## ②消す

もう、蠟燭の火をけしヨル。〔開始〕  
 \*\*\*

今、必死でボヤをけしヨル。〔進行中〕 順々に、電気をけしヨル。〔繰り返し〕  
 ている ている

もう、電気をけしトル。〔結果の状態〕 去年のあの火事は、村中でけしトル。〔経験〕  
 である〔結果の蓄積〕 ている

あら、もう、蠟燭、けしチャル。〔結果の現存〕  
 である

## ③載せる

あの記事は、載せた? →今、のせヨル。〔開始〕 毎週、雑誌に広告をのせヨル。〔繰り返し〕  
 \*\*\* ている

新聞に、広告をのせトル。〔結果の状態〕 この記事は、2年前にのせトル。〔経験〕  
 である〔結果の蓄積〕 ている

広告が、のせチャル。〔結果の現存〕  
 である

B 「ヨル・トル」と「ている・である」

## ④読む

姉は、今、本をよみヨル。〔進行中〕 午後は、いつも本をよみヨル。〔繰り返し〕  
 ている ている

もう、その本はよんどル。〔結果の状態〕 漱石は、学生時代によんどル。〔経験〕  
 である〔結果の蓄積〕 ている

お礼を言う いきさつを話す 対策を考える 病状を知らせる 出発時間を伝える 映画に誘う 迎えを頼む メモを取る 写真を見せる 蜜柑を送る 花束を渡す 英語を教える 切符を買う お金を払う 猫に餌を遣る 意味を調べる 数を数える 旅行の行き先を決める 荷物を乗せる 歯を治す 診察を受ける 仕事を見付ける 羊を捕まえる 園児を帰す 会社を興す

C 「ヨル・トル」と「ている」

⑤歩く

犬があるきヨル。〔進行中〕 毎朝、公園をあるきヨル。〔繰り返し〕  
ている ている

この足跡は、犬があるいトルね。〔結果の状態〕 昔の人は、東海道をあるいトル。〔経験〕  
\*\*\* ている

運動場で走る 舞台上で踊る カラオケで歌う にこにこと笑う プールで泳ぐ 公園で遊ぶ ドライ  
ヤーを使う ご飯を食べる ジュースを飲む 煙草を吸う 映画を見る 講演を聞く 橋を渡る 関所  
を通る 英会話教室に通う ピアノを習う 化粧品を売る 店を手伝う 成績を比べる 質問に答える  
宝石を盗む 羊を殺す 子供を叱る 絵を誉める 機械が動く 子供が泣く 虫が鳴く 風が吹く 雨  
が降る 水が出る 水が流れる 薪が燃える 家が揺れる 山が見える 音楽が聞こえる

⑥驚く

犬に吠えられて猫がおどろきヨル。〔進行中〕 犬が吠える度に猫がおどろきヨル。〔繰り返し〕  
ている ている

母が入院して、皆がおどろいトル。〔結果の状態〕 父の入院の時も、おどろいトル。〔経験〕  
ている ている

合格を喜ぶ 父が怒る 反発を感じる 学生生活を楽しむ アメリカに行こうと思う 暮らしに困る  
仕立てを急ぐ 交流が続く デパートで働く デパートに勤める サービスに努める 姉と一緒に暮ら  
す 鶏を飼う 生活費が足りる 部屋を貸す 友達と会う アルバイトを許す 学校を休む 一生懸命  
に生きる 田舎に住む

⑦着る

姉が、鏡の前で着物をきヨル。〔進行中〕 正月には、着物をきヨル。〔繰り返し〕  
ている ている

一人で上手に着物をきトル。〔結果の状態〕 成人式の時に振り袖をきトル。〔経験〕  
ている ている

靴を履く 帽子を被る 眼鏡を掛ける 帯を締める ボタンを留める 手を挙げる 体を起こす 馬に  
乗る 電車から降りる

⑧集まる

校庭に、人があつまりヨル。〔進行中〕 年に一度、あつまりヨル。〔繰り返し〕  
ている ている

校庭に、人があつまトル。〔結果の状態〕 10年前に、あつまトル。〔経験〕  
ている ている

水銀柱が上る 人が並ぶ 数が増える 貯金が殖える 身長が伸びる 期間が延びる 船が離れる 旗  
が揚がる 幕が下りる 株が下がる 線が曲がる 根が張る 準備が進む 単語を覚える

⑨倒れる

看板が、風でたおれヨルよ。〔開始〕

\*\*\*

ゆっくりと、杉の木がたおれヨル。〔進行中〕 台風で、次々に木がたおれヨル。〔繰り返し〕  
 ている ている

風で、看板がたおれトル。〔結果の状態〕 神社の木が、去年の台風でたおれトル。〔経験〕  
 ている ている

書類が飛ぶ 鉛筆が落ちる 犯人が逃げる

⑩生まれる

今、猫の子がうまれヨル。〔開始〕

\*\*\*

猫の子が、次々に生まれヨル。〔繰り返し〕  
 ている

猫の子が、生まれトル。〔結果の状態〕 祖父は、明治時代に生まれトル。〔経験〕  
 ている ている

鯉が死ぬ 蠟燭が消える 火が付く 床に就く 店が開く 流行が移る 赤ちゃんが眠る 弟が寝る  
 父が起きる 椅子が壊れる 裾を踏む 鳥が木に留まる 椅子に坐る 赤ちゃんが立つ 店が建つ 荷  
 物を持つ ハンカチを落とす 計算が合う 寸法が違う 北を指す 映画が始まる 会議を始める 会  
 議が終わる 手続きが済む 代表者が決まる 雨が止む 煙草を止める 壁に当たる 色が変わる 出  
 発時間が過ぎる 時間に遅れる 締切に間に合う 試合に勝つ 試合に負ける 意見が分かれる 夫婦  
 が別れる 風呂に入る 花が咲く 寿司が出来る 実が成る 用紙が無くなる ご馳走が残る 人口が  
 減る 空が晴れる 空が曇る 夜が明ける 地面が乾く 体が痩せる 体が太る

⑪行く

どこにいきヨルの? → 郵便局にいきヨル。〔開始〕 毎日、市場にいきヨル。〔繰り返し〕

\*\*\*

\*\*\*

ている

妹は、今、学校にいったトル。〔結果の状態〕 父は、若い頃、イギリスにいったトル。〔経験〕  
 ている ている

友達が来る 家に帰る 返事が返る お年玉を貰う お土産を戴く お菓子を呉れる お土産を下さる  
 情報を知る バス停で父を待つ 運転に慣れる 犬が馴れる 父親に似る 目が疲れる お腹が空く  
 英語を忘れる 数学が解る

⑫載る

今月から新連載の小説がのりヨル。〔繰り返し〕  
 ている

新聞に、地震の記事がのったトル。〔結果の状態〕 同じ記事が、3年前にのったトル。〔経験〕  
 ている ている

問題が起こる 会社が興る 人が亡くなる 会社を辞める

D 「ヨル・トル」

⑬有る

今、文法の授業がありヨル。〔進行中〕 毎週、テストがありヨル。〔繰り返し〕  
文法の授業は、午前中にあつトル。〔結果の状態〕 先週も、小テストがあつトル。〔経験〕

⑭要る

今日は、なにやかや、いりヨルよ。〔繰り返し〕  
今日は、なにやかや、いっトルよ。〔結果の状態〕

⑮依る

生活費は、親からの仕送りによつトル。〔結果の状態〕

以上の比較対照結果を見ると、北九州市域方言が、「進行中」と「結果の状態」とを「ヨル」・「トル」形式で区別して表現するのに対して、共通語は、まずは「ている」のみで表現することである。しかしながら、共通語においては、「である」形式が、「進行中」と「結果の状態」とを区別する機能も果たしている。

方言形式の「ヨル」は、動詞の意味作用の「開始」から「終結」までの過程の途上にあることを表現するものである。「進行中」とはせずに、「開始」とした「飛びヨル・死にヨル・行きヨル・晴れヨル・忘れヨル」などは、共通語では「～そうだ」「～つつある」「～てきた」「～ていく」などにあたるものである。

「トル」は、そこにある状態を見て、「推測」して、それが「結果の状態」であると判断するものでもある。この用法は、形容詞にも見られて、

(優秀な人について) お母さんがえらかつトルんよ。 きつと、お母さんが偉かつたんだよ。

(傷の状態を見て) こりゃ、いたかつトルよ。 これは、きつと、痛かつたはずだよ。

(会議の準備の状態を見て) きょうは、朝からいそがしかつトルよ。 今日は、きつと、朝から忙しかつただろうよ。

などの用例がある。

方言形式の「チャル」は、「結果の現存」のみに用いられる。他者の行為の「結果の状態」が眼前にある場合、の表現となる。共通語での「結果の蓄積」は「である」形式を用いるが、当方言では「トル」形式が、これに対応する。

今回の対照は、一つの試みである。用例を吟味するたびに、対照一覧に掲げた語句を部分的に動かす作業が続いた。現段階においても、まだその途上であるが、とりあえずは、中間報告として整理しておきたい。



### おわりに

都竹通年雄(1980)の「進行と結果を言い分けるか(『行く』『焼ける』を例として)」の言語地図によると、「ヨルとトル(チャル)で言い分ける」地域は、九州・四国・中国に広がっている。当北九州市も、その中の一地点である。が、西日本一円のものとは言いながら、「ヨル・トル」の様相はひとつとおりではない。辰浜マリ子(1977)、工藤真由美(1983)を見ても、北九州市域との異同が認められる。

また、当方言内においても、「ヨル」の「トル」化への傾向が見られて、

雨、降りヨル?→うん、降つトルよ。(降っているよ。)

などの例を聞いている。他に「走る」「遊ぶ」「売る」などの動詞にも、その用例がある。

また、「チャル」も弱くなっており、やはり「トル」化への傾向が認められる。

今後は、西日本方言間の比較対照、一方内の変化を明確に把握することなども課題として、その問題解決にあたりたい。

### 参考文献

- 「国語動詞の一分類」(金田一春彦 1976 『日本語動詞のアスペクト』 麦書房)「日本語動詞のテンスとアスペクト」(金田一春彦 同上)
- 「『動詞+ている』の意味」(藤井正 同上)
- 「現代日本語動詞のアスペクト」(吉川武時 同上)
- 「『本が置いてある』と『本を置いてある』」(森田良行 1971 『講座正しい日本語 第五巻 文法編』 森岡他編 明治書院)
- 「アスペクトの研究をめぐって(上)・(下)」(奥田靖雄 1978 『教育国語53・54』)
- 「日本語アスペクトの時定項分析」(森山卓郎 1986 『論集 日本語研究(一)現代編』 宮地編 明治書院)
- 「相生方言のアスペクト——『居る』・『て居る』について——」(辰浜マリ子 1977 『都大論究』第14号)
- 「全国方言のテンスとアスペクトについて」(都竹通年雄 『言語生活』1980・6)「宇和島方言のアスペクト」(工藤真由美 1983 『国文学 解釈と観賞』第48巻6号)
- 「アスペクト研究方法試論」(木部暢子 1983 『文献探求』第13号 文献探求の会)
- 「方言アスペクトの研究」(1994 『方言資料叢刊』第4巻 方言研究ゼミナール)
- 『地域語の生態シリーズ 九州編 地方中核都市方言の行方』(陣内正敬 1996 p.64~66 「アスペクト表現」)